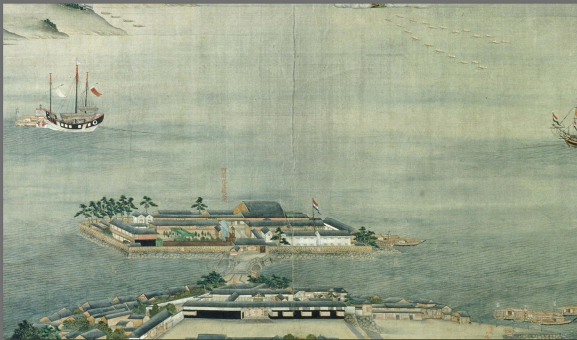


# 古写真・資料にみる県庁舎跡地



## 江戸時代後期の出島と長崎奉行所西役所

資料名：＜瓊浦華蘭進港図＞（部分）

（長崎歴史文化博物館収蔵）

作者：石崎融思（1768-1846）

製作年：文政3年（1820）

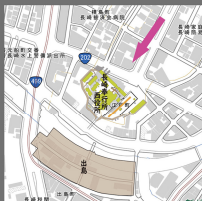


＜瓊浦華蘭進港図＞全体

江戸時代後期の画家・石崎融思が出島

を中心に長崎港の内外を描いた＜瓊浦華蘭進港図＞を一部拡大したものです。

石橋を渡った奥が出島。手前に黒堀の長崎奉行所西役所、周囲に江戸町の街並みも描かれています。拡大図の右下側、階段を下りた先が大波止で、鉄玉（鉄砲玉）もみえます。



絵図の視線

長崎歴史文化博物館蔵「長崎図説」（天保9）（長崎歴史文化博物館蔵）の  
トレーヌ面を転写加工した複製写真（複製）